

九州横断自動車道延岡線(蘇陽そよう～高千穂たかちほ)  
第2回 説明資料

平成27年3月10日

国土交通省 九州地方整備局

## 本日、ご審議いただく内容

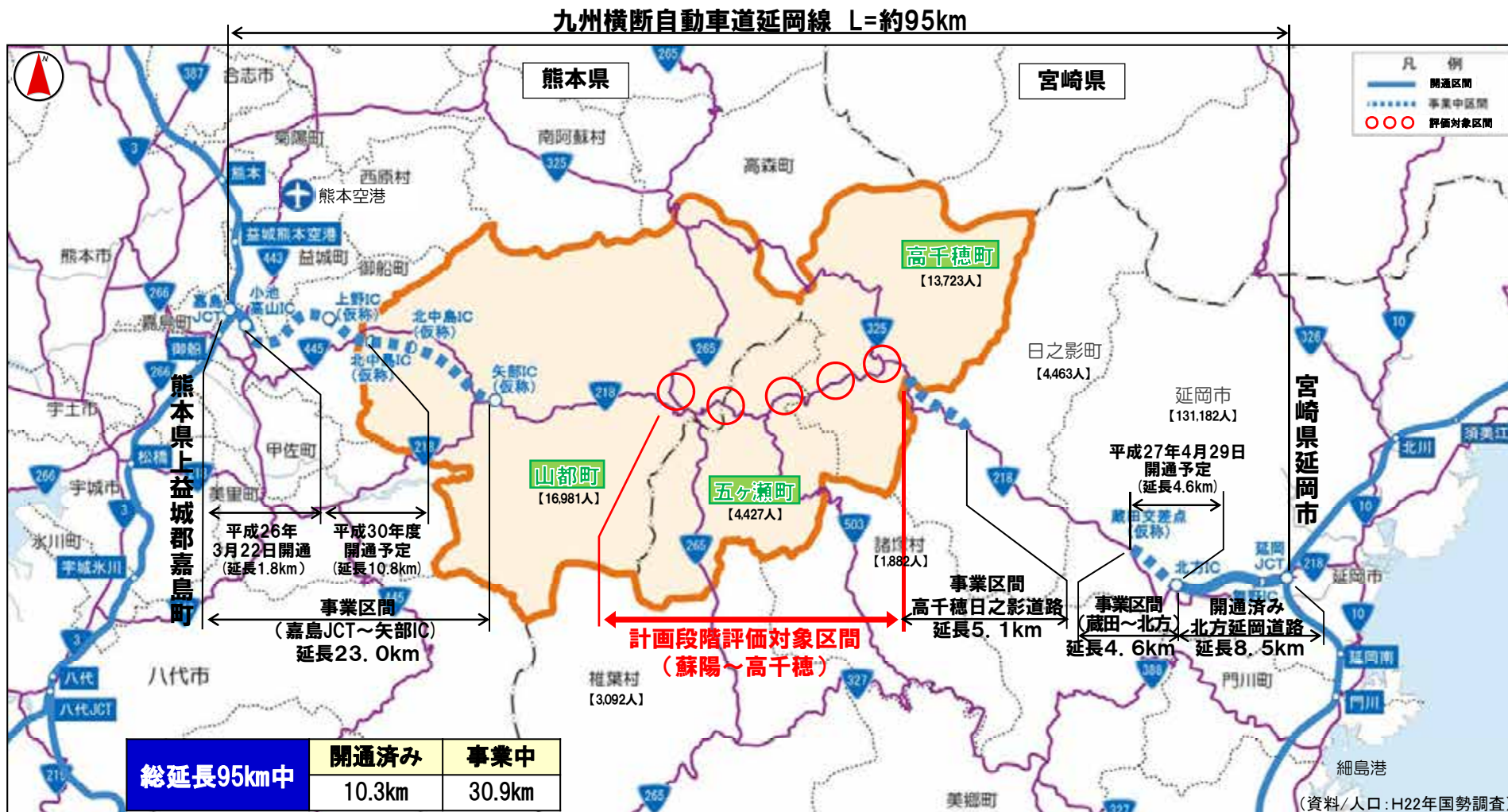
1. 前回までの審議内容
2. 第1回意見聴取の概要
3. 第1回意見聴取の結果
4. 対応方針の検討
5. 第2回意見聴取方法(案)



# 1. 前回までの審議内容

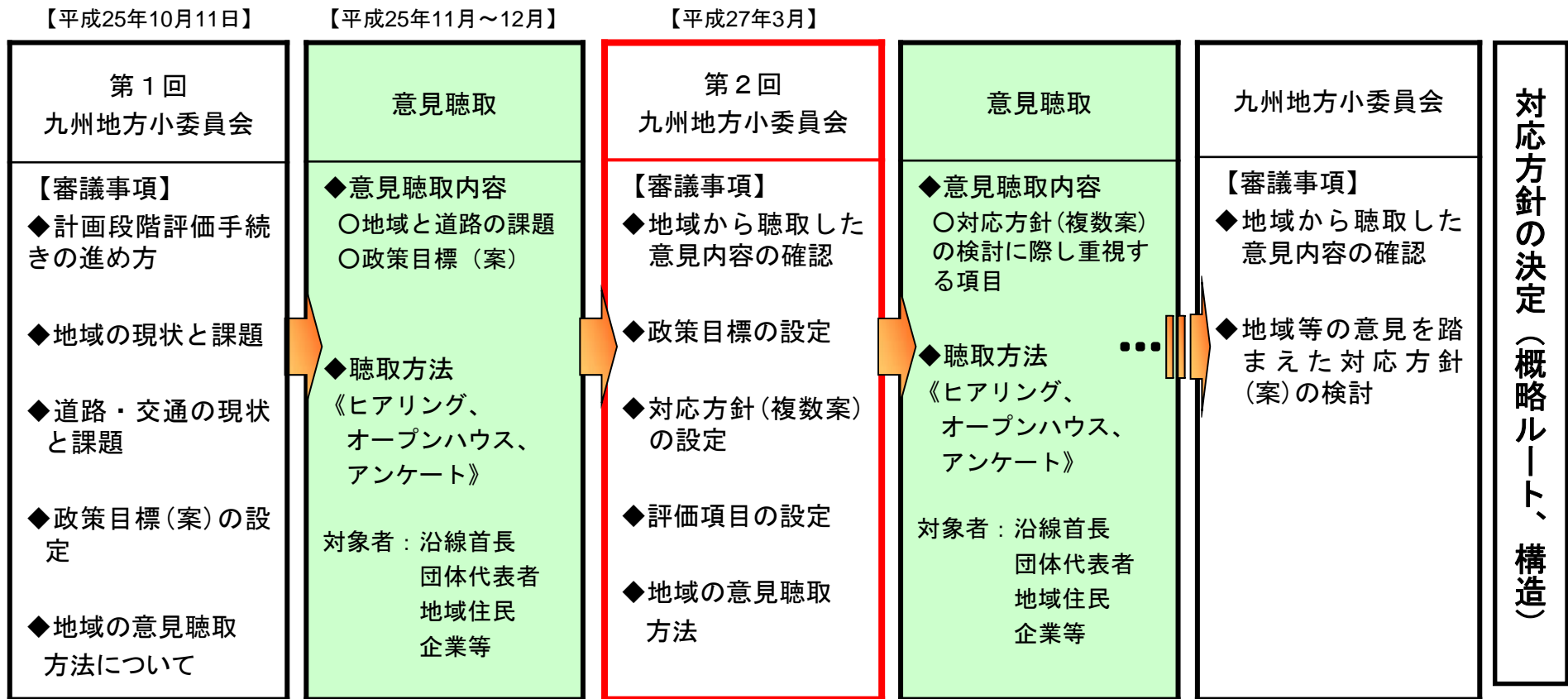
# 1-1. 評価対象区間

- 当該区間は、九州横断軸の一部を担う九州横断自動車道延岡線の一部。
- 沿線の熊本県山都町、宮崎県五ヶ瀬町、高千穂町は九州の中央に位置し、県庁所在地の熊本市まで約60km、宮崎県北の拠点都市延岡市まで50kmに位置する。



▲路線位置図

# 1-2. 計画段階評価手続きの進め方(案)



対応方針の決定(概略ルート、構造)

地 方 小 委 員 会

## 1-3. 前回審議内容＜九州地方小委員会(第1回)＞

### 九州地方小委員会(第1回)の概要

#### ■実施日

平成25年10月11日

#### ■主な議題

- ①地域の現状と課題
- ②道路・交通の現状と課題
- ③政策目標(案)の設定
- ④意見聴取方法について

### 九州地方小委員会(第1回)での主な指摘事項と対応状況

指摘事項	対応状況
・この路線は、九州の東西を結ぶ路線であり、広域的な観点からも意見聴取を実施してはどうか。	・広域的な観点から延岡市や熊本市等の首長並びに団体から意見聴取を実施した。
・沿線自治体の総合計画など、地域のビジョンも踏まえて、より具体的な政策目標にしてはどうか。	・政策目標については、沿線自治体の総合計画等を参考に妥当性を確認するとともに、意見聴取の結果を踏まえ、より具体的に政策目標を評価する指標に反映した。

# 1-4. 政策目標の設定

地域の課題	道路による要因	政策目標
<p><b>①防災</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○災害が起こりやすい地域。</li> <li>○宮崎県沿岸が地震により被災した場合、救援ルートは限られている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○現道が被災した場合、大幅な迂回を強いられ、代替路となる道路がない。</li> </ul>	<p><b>①災害時に機能する信頼性の高いネットワークの確保</b></p>
<p><b>②医療</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○第3次救急医療施設（熊本市、延岡市）への搬送は、60分以上を要する状況。</li> <li>○脳疾患や心疾患の死亡率が全国平均より高い状況。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○現道は速達性、走行性に課題がある。</li> </ul>	<p><b>②熊本市・延岡市の第3次救急医療施設への速達性・走行性の向上</b></p>
<p><b>③雇用・定住</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○高齢化や人口減少が進行。</li> <li>○延岡市を中心とした『定住』『自立』による圏域全体の活性化。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○現道は速達性、安全性に課題がある。</li> </ul>	<p><b>③中心市延岡市への移動の速達性・安全性の向上による安心した暮らしの支援</b></p>
<p><b>④観光</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○歴史・文化等多彩な地域資源を活かした体験学習観光を展開している。</li> <li>○阿蘇くじゅう地域と連携した滞在交流型観光地を目指した取組みを進めている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○現道の速達性向上が課題。</li> </ul>	<p><b>④歴史・文化的資源を活かした回遊性の向上による広域的な観光振興の支援</b></p>
<p><b>⑤産業</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○宮崎県・熊本県は肉用牛の飼育が盛んであるが、長距離移動が肉牛の品質低下を招く。</li> <li>○細島港、熊本港、八代港の背後圏流動の拡大が課題。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○現道の走行性が課題。</li> <li>○現道の速達性が課題。</li> </ul>	<p><b>⑤走行性、速達性向上による産業活動の支援</b></p>



## **2. 第1回意見聴取の概要**



## 2. 第1回意見聴取 ～概要～

■意見聴取は、自治体・団体・企業へのヒアリング、地域住民アンケート及びオープンハウスにより実施した。

対象	意見聴取方法	実施期間	対象の詳細	回答状況
自治体	ヒアリング	平成25年10月17日(木) ～11月29日(金)	熊本県、宮崎県、山都町、五ヶ瀬町、高千穂町、 日之影町、熊本市、延岡市	8自治体より
団体等	ヒアリング	平成25年11月13日(水) ～12月5日(木)	トラック協会・バス協会・タクシー協会(熊本県、宮崎 県)、商工会議所(延岡市、日向市)、熊本県医師会、 消防署、警察署、農協、観光協会等25団体	25団体より
企業	ヒアリング	平成25年11月13日(水) ～12月5日(木)	対象地域の主要企業95社(製造業、卸売・小売業、 土木建設業、運送業、宿泊・飲食サービス業、教育・ 医療・福祉)	95社より
地域住民	アンケート	平成25年11月11日(月) ～12月16日(月)	山都町、五ヶ瀬町、高千穂町の全世帯へ配布 (12,423世帯)	回答数:3,720票
	オープン ハウス	平成25年11月24日(日) 11月27日(水) 11月28日(木)	6会場(山都町2、五ヶ瀬町2、高千穂町2)	意見聴取数:508人

### ■設問事項

- 課題・政策目標(案)と道路整備の必要性に対する意見を伺う。

### ■記者発表・チラシなどによる広報

- 記者発表

平成25年11月11日(月)  
平成25年11月21日(木)

- 広報用チラシ・ポスター

・市役所、役場、各会場に  
掲示・配布

- 各自治体のHPに掲載

### ◆広報用チラシ



## 2. 第1回意見聴取 ～ヒアリング～

### ■ヒアリングの実施状況



【平成25年11月27日 山都警察署にて】



【平成25年12月5日 熊本トラック協会にて】

### ■ヒアリング実施自治体・団体・企業の内訳



対 象：自治体（2県6市町）  
団 体（25団体）  
企 業（95社）

## 2. 第1回意見聴取 ～オープンハウス～

### ■オープンハウスの実施状況



【11月24日 山都町役場蘇陽総合支所】



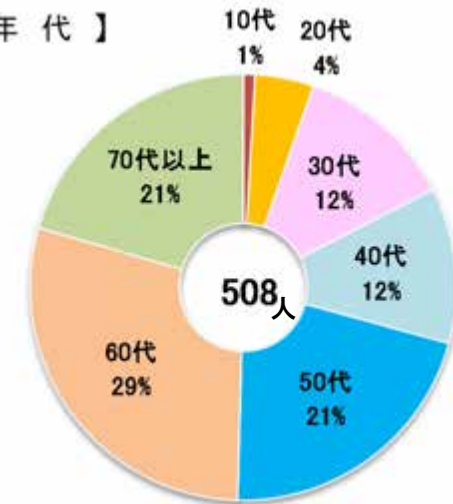
【11月27日 五ヶ瀬町国民健康保険病院】



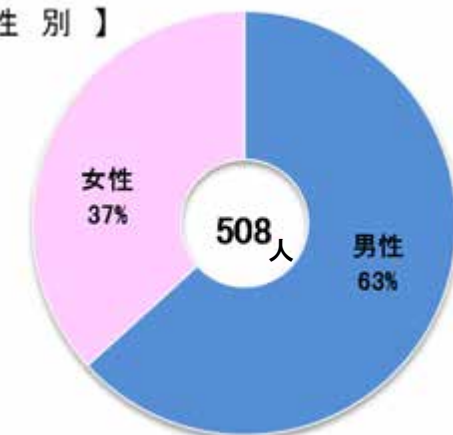
【11月27日 高千穂町国民健康保険病院】

### ■オープンハウス意見聴取者の内訳

【年代】



【性別】



対象：地域住民  
 会場：山都町2、五ヶ瀬町2、高千穂町2  
 意見聴取数：508人



## 2. 第1回意見聴取 ～アンケート～

### ■アンケート実施内容

#### アンケート回答用紙

下記の口々にチェックおよび記入をお願いします

年齢	<input type="checkbox"/> 10代 <input type="checkbox"/> 20代 <input type="checkbox"/> 30代 <input type="checkbox"/> 40代	性別	<input type="checkbox"/> 男
	<input type="checkbox"/> 50代 <input type="checkbox"/> 60代 <input type="checkbox"/> 70代以上		<input type="checkbox"/> 女
職業	<input type="checkbox"/> 会社員 <input type="checkbox"/> 公務員 <input type="checkbox"/> パート・アルバイト		
	<input type="checkbox"/> 農業 <input type="checkbox"/> 自営業		
	<input type="checkbox"/> 主婦 <input type="checkbox"/> 学生 <input type="checkbox"/> 無職 <input type="checkbox"/> その他		
住所	[            ] 県 [            ] 市・町		

現在の国道218号の利用状況についてお聞きします

**質問1 国道218号をどれくらいの頻度で利用しますか**

あてはまる番号を1つ選び、該当する番号に○をつけてください。

1. ほぼ毎日    2. 週に2・3回程度    3. 月に2・3回程度    4. ほとんど利用しない

**質問2 国道218号の主な利用目的は何ですか**

あてはまる番号を1つ選び、該当する番号に○をつけてください。

1. 通勤・通学    2. 通院    3. 家事・買い物    4. 仕事（営業・運送等）  
5. 観光・レジャー    6. その他

地域の現状と課題、道路・交通の状況と課題についてお聞きします

**質問3 日頃から感じている事や困っている事、また、その課題を解消するための方法について、ご意見をご自由にお書き下さい**

その他、ご意見等ございましたら、ご自由にお書き下さい

アンケート調査へのご協力ありがとうございました

-お答え頂いた個人情報および意見は、本アンケート以外の目的で使用することは一切いたしません  
-皆さまの貴重な意見のとりまとめに必要となりますので、記入漏れがないようお願いいたします

#### ▲質問内容

### ■住民アンケート回答者の内訳

【年代】



【性別】



対象 : 地域住民  
配布 : 12, 423世帯  
回答 : 3,720票

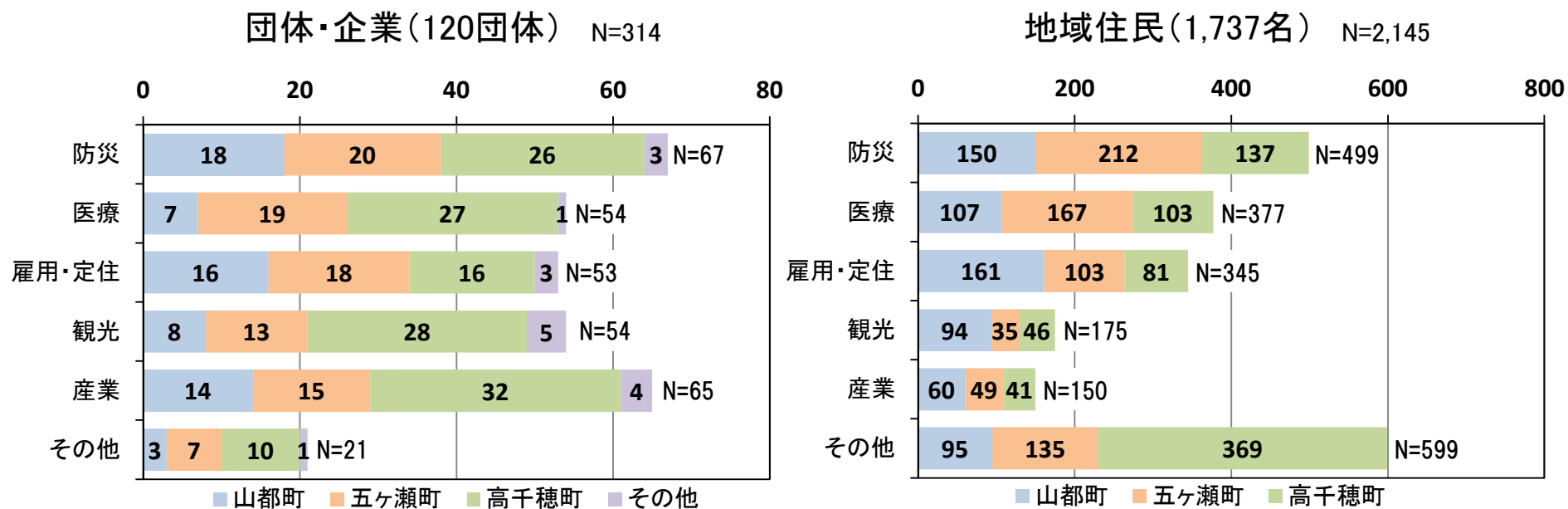


## **3. 第1回意見聴取の結果**

### 3. 第1回意見聴取の結果

#### ■地域の現状と課題、政策目標について、意見を伺った。

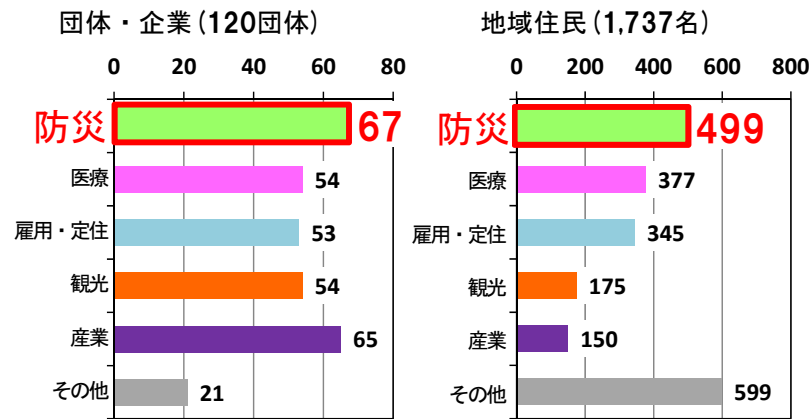
- 団体・企業、地域住民ともに防災への意見が多い
- 次いで、団体・企業は産業、地域住民は医療への意見が多い



### 3. 第1回意見聴取の結果

#### ■ 属性別に見た回答の傾向【政策目標：1. 災害時にも機能する信頼性の高いネットワークの確保】

- 団体・企業意見においては、国道218号が通行止めの場合、大きな迂回を強いられるため、代替機能を持った道路が必要という意見が多かった
- 地域住民意見においては、大雨や豪雪による通行止めが多いが迂回路がないことを指摘する意見が多い
- 自治体意見においては、地震等の災害発生時の緊急避難路、復旧・復興の支援路が必要との意見が見られた



#### 【団体・企業ヒアリング】

- 熊本の自衛隊が延岡へ救援に来るためには、国道218号1本のみであり、南海トラフに関する大震災時には、延岡市や日向市が孤立する。（延岡市）
- 自然災害が多く、道路が寸断されれば命の道がなくなる。（高千穂町）
- 大雨による災害や凍結、事故などによる通行止めが多い。迂回路もないため運送業者として利用しにくい道路である。（宮崎県）
- 国道218号が通行止めの場合、特に大型車は大きな迂回を強いられる。災害時にも機能する国道218号の代替機能をもった道路整備が必要である。（山都町）

#### 【地域住民（オープンハウス・アンケート）】

- 山間部に向けての物資搬入と救急隊ルートが必要である。（五ヶ瀬町）
- 迂回路がなく、国道218号が通行止めになれば南阿蘇～高森経由となるので、災害に強い道路が必要と感じる。（山都町）
- 急峻な地形の中にある現在の国道218号は、大雨や豪雪によりしばしば通行止めとなる。また、急勾配、急カーブのため、事故も頻繁に発生し、不安が絶えない。（五ヶ瀬町）
- 台風・大雨等の災害時、陸の孤島となるおそれがある。（高千穂町）

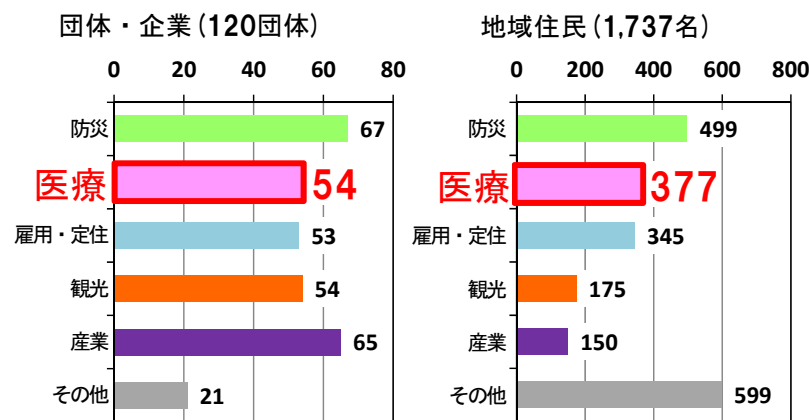
#### 【自治体意見】

- 蘇陽～高千穂の道路は線形不良箇所が連続し、自然災害も多く脆弱である。（熊本県）
- 南海トラフ巨大地震が発生すれば、まずは延岡市周辺地域からの緊急の避難路として、次に復旧・復興の支援路としての横軸が重要（熊本市）
- 豪雨等に伴う法面崩壊による道路の通行止めが多い地域で、迂回路も限られており沿線住民の生活に支障をきたす状況が頻繁にある。また、南海トラフ巨大地震などの災害に備えた救援ルートを整備する必要がある。（山都町）
- 大規模災害発生時には救援・支援ルートとなる「命の道」として機能する路線である。沿線地域においては、医療や防災・減災など地域の安全・安心の実現が期待できる。九州全体では、災害時や災害復旧時での命の道としての役割が期待できる。（宮崎県）

### 3. 第1回意見聴取の結果

#### ■属性別に見た回答の傾向【政策目標:2. 熊本市・延岡市の第3次救急医療施設への速達性・走行性の向上】

- 団体・企業意見においては、救急搬送の時間がかかることや線形が悪いため搬送中の処置が出来ないことを課題に挙げる意見が見られた
- 地域住民意見においては、先端医療を受けるための移動に時間を要することや、カーブや勾配の悪さによる体への負担を訴える意見が多い
- 自治体意見においては、高度医療機関の広域的活用や搬送・受診時間の短縮を求める意見が多い



#### 【団体・企業ヒアリング】

- 産婦人科が無いため、熊本や延岡に妊婦本人が運転して行く場合、国道218号は路面が凸凹して振動があるうえ、カーブも多く運転が辛い。(高千穂町)
- 町立病院は心筋梗塞・脳卒中患者の対応が出来ないため、第三次救急医療施設へ再搬送するが、所要時間がかかりすぎる。一時停止や、急勾配により搬送中に救命士の処置が出来ない場合がある。道が狭く線形が悪いため、前の車両が路肩に止めたとしても追いつく事ができない。(高千穂町)
- 救急搬送は時間がかかり、熊本へ1時間20分、日赤病院や済生会熊本病院へ搬送する。(五ヶ瀬町)

#### 【地域住民（オープンハウス・アンケート）】

- 当町近くに産科病院がなく、延岡で出産するため国道218号を利用したが、予想以上に時間を要し高速道の必要性を痛感した。(五ヶ瀬町)
- 過去2回心筋梗塞で熊本の病院に搬送された。現道のカーブや勾配の悪さで体への負担がかかり死ぬと覚悟した。(五ヶ瀬町)
- 先端医療を受けるためには熊本市または延岡市までの長距離移動(時間で約100分)が必要となり、また、緊急時の100分はほぼ手遅れとなり得ることも考えられるため、高速道路の早期着工をお願いしたい。(五ヶ瀬町)
- 熊本市等の大病院に救急搬送する際、今のままでは遠く時間がかかり、路面状態も悪いので、もっといい医療が山間地の人も受けられるように道路を整備してほしい。(高千穂町)

#### 【自治体意見】

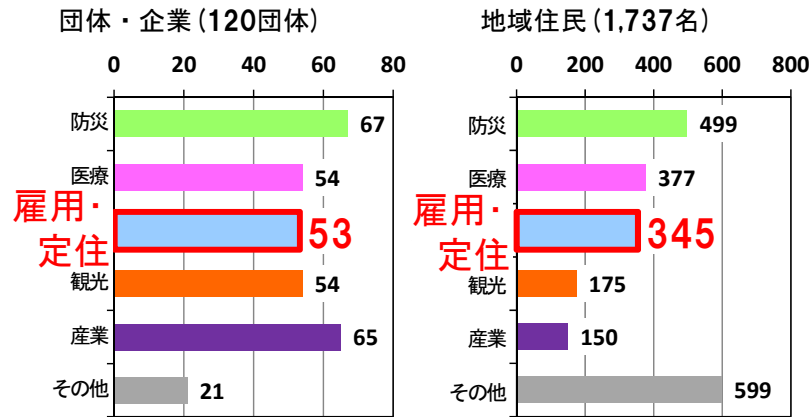
- 熊本市は3次医療等の高度な医療機関が多く、これらの施設を広域的に活用でき九州の医療水準の向上に寄与できる。(熊本市)
- 九州中央地域は熊本都市圏への搬送に時間を要し、急カーブ・急勾配が多数存在し患者への負担が大きい。熊本都市圏への医療機関等への搬送・受診時間の短縮は沿線住民にとって重要な課題である。(山都町)
- 救急医療施設への搬送路として機能する路線である。(宮崎県)
- 熊本県は有名な救急医療施設が多いが、一刻一秒を争うときに今の国道218号では間に合わない。(日之影町)



### 3. 第1回意見聴取の結果

#### ■ 属性別に見た回答の傾向【政策目標:3. 中心市延岡市への移動の速達性・安全性の向上による安心した暮らしの支援】

- 団体・企業意見においては、熊本や延岡への通勤・通学に多くの時間がかかる、移動に時間がかかり交流が活発でないという意見があった
- 地域住民意見においては、日常の買い物や通勤等に時間がかかることや、定住化には通勤可能圏域の確保が重要であるという意見が多かった
- 自治体意見においては、通勤圏の拡大による若者の定住化を期待する意見があった



#### 【団体・企業ヒアリング】

- 高千穂町内に働き場が少ない。買い物にも不便で都市部へ若い人が流出する。熊本や延岡まで時間短縮すれば利便性が大きく改善し流出も減ると思う。(高千穂町)
- 延岡を中心に40キロ圏内に40万人の人口があるが、高速道路網の整備の遅れにより、圏域内の移動に時間がかかり、交流が活発でない。(延岡市)
- 熊本方面への移動の速達性や安全性の向上による安心した暮らしの支援が必要。(五ヶ瀬町)
- 熊本、延岡への仕事や学校への通勤・通学ができればよいが、現在は熊本、延岡へは多くの時間が必要である。(山都町)

#### 【地域住民（オープンハウス・アンケート）】

- 日常の買い物は、熊本や延岡まで足を延ばさないといけませんが、1~2時間かかる。(山都町)
- 高千穂へ買い物へ出かけたが、馬見原~高千穂間の道がカーブが多くとても危険を感じる。(山都町)
- 子どものスポーツ大会(サッカー、バレー等)は県の中央や県南であることが多く、朝早く出て、帰るのも遅くなり、子どもにも負担がかかっている。(五ヶ瀬町)
- 若者の通勤不便による地元離れが多すぎる。我が地域が都市部のベッドタウン的存在となれることが地域活性化としても最善である。(五ヶ瀬町)
- 中山間地域での若者の定住化には、通勤可能圏域の確保を図る、また雇用確保のための企業誘致を図る、そのためにはインフラ整備の中で高速道路等の整備が急務である。(高千穂町)
- 延岡方面、熊本市には、病院、買物等にはよく行きます。往復3~4時間、まる1日かかります。(高千穂町)

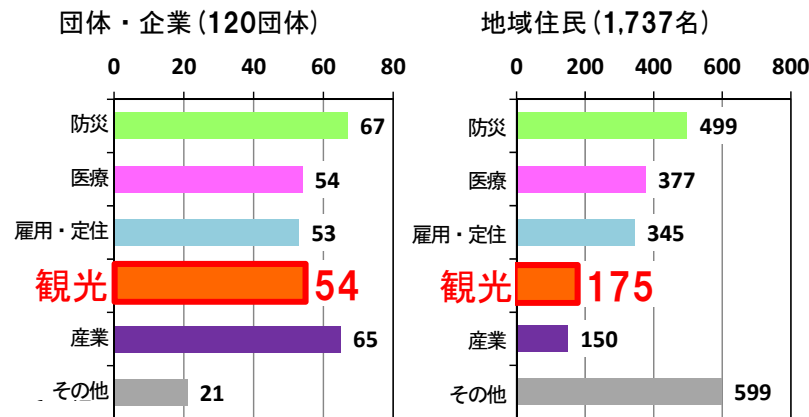
#### 【自治体意見】

- 過疎化・高齢化が問題で、熊本市が通勤圏内になれば、仕事がないため出て行った若者が戻ってくると考えている。(五ヶ瀬町)
- 高千穂から熊本、延岡へ通勤してもらいたい。よその地域出身の若い人に定住してもらおうことも考えられる。(高千穂町)

### 3. 第1回意見聴取の結果

#### ■ 属性別に見た回答の傾向【政策目標:4. 歴史・文化的資源を活かした回遊性の向上による広域的な観光振興の支援】

- 団体・企業意見においては、他地域へのアクセスが悪く、観光周遊性を課題とする意見が多かった
- 地域住民意見においては、移動時間がかかることや線形が悪く危険であることが誘客の妨げになっているとの意見が多かった一方、道路事情が悪い方が宿泊者が増えるとの意見もあった
- 自治体意見においては、点在する観光資源や隣接する阿蘇への時間短縮による回遊性向上を期待する意見があった



#### 【団体・企業ヒアリング】

- 高千穂峡等の観光資源が多数存在するが、高速道路がない為、他地域との交通連携がしにくい。例えば、高千穂町に来てから、また別の観光地に行くのが難しい。  
(高千穂町)
- Gパークや農家民宿などの観光の取り組みを支援する高速性の高い道路が必要  
(五ヶ瀬町)
- 他地域へのアクセスが悪く、観光バスの回送に時間がかかり、ドライバーや会社の負担になっている。  
(山都町)
- 観光客の多くは、空港や熊本駅を経由して車で来るが、高千穂に着くだけで1日目が終わる。アクセスが良くなれば、他の観光地にお客が流れることが懸念されるが、来客数が増えることのメリットが高い。  
(高千穂町)
- 福岡や熊本からの速達性が課題となり、一般的に日帰りできる立地ではないため、来場者が伸び悩んでいるものと考えている。  
(高千穂町)

#### 【地域住民（オープンハウス・アンケート）】

- 熊本空港までの時間短縮ができれば観光面でも誘客につながると思う。  
(高千穂町)
- 高千穂に宿泊する方について、道路事情が悪い方が宿泊者が増えるのではないか。  
(高千穂町)
- 交通の便がないので、スキー場などはあるが、人が来ない。  
(五ヶ瀬町)
- 延岡方面へ観光に行きたいと思うが、急勾配、急カーブが多く時間もかかるため断念してしまう。  
(山都町)
- 天岩戸神社など子供の教育に繋がるような場所も線形が悪く危険なので、連れて行けない。  
(山都町)

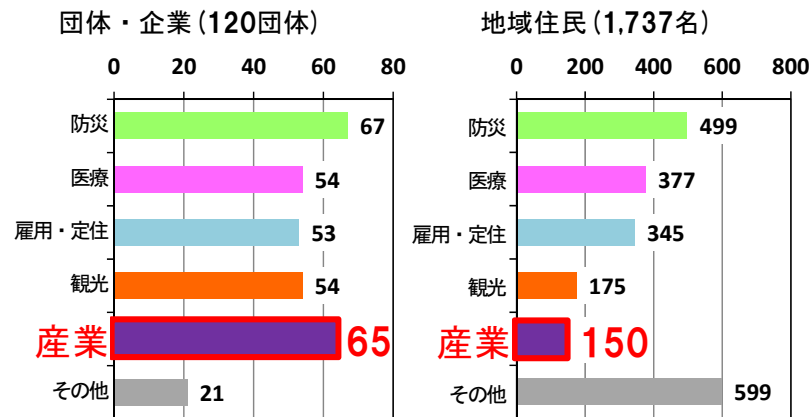
#### 【自治体意見】

- 九州中央地域に点在する歴史・文化等多彩な地域資源、観光資源を活かした取り組みを地域一体となって推進する体制づくりは出来ているが、観光客の回遊性向上が重要な課題である。  
(山都町)
- 高千穂は宮崎県内最大の観光スポットであるが、阿蘇と隣接しているのに時間がかかり行きにくい。  
(延岡市)

### 3. 第1回意見聴取の結果

#### ■ 属性別に見た回答の傾向【政策目標:5. 走行性、速達性向上による産業活動の支援】

- 団体・企業意見においては、農産物輸送時に時間がかかることや、畜産物等の輸送時に線形不良による品質低下、物流効率の低下を課題とする意見が多かった
- 地域住民意見においては、農畜産物の搬送時間がかかることや走行性の悪さによる荷崩れ等の損失を挙げる意見が多かった
- 自治体意見においては、線形不良や長距離輸送による品質低下が課題という意見があった。



#### 【団体・企業ヒアリング】

- 上益城農協からは、福岡県、熊本市、鹿児島県、長崎県の市場に農産物を配送しているが、宮崎県、大分県方面には配送に時間がかかる事から進出していない。 (山都町)
- 福岡、熊本、大分等の物産展に農産品を出展しているが、熊本ICまで1.5時間かかり非常に遠く感じる。福岡に行く際も日帰りとなるため、朝5時出発、夜10時戻りという非常に厳しい行程を余儀なくされている。 (高千穂町)
- 肉用牛を筑紫野市まで出荷しているが、山間地域の急勾配・急カーブ、一旦停止、長時間輸送が牛に与えるストレスは、人間の想像をはるかに超え、体重の減少や肉質の低下を招き、減収は年間約1.1億円にもなる。 (高千穂町)
- 道路線形が悪いために、22ftトレーラーしか走行できず物流効率が落ちている。40~45ftの大型トレーラーが安全に通行可能な道路が必要。 (延岡市)

#### 【地域住民（オープンハウス・アンケート）】

- 夏野菜の運送で、道路が混んでいて、時間内に目的地へ着かない。鮮度も落ちる。 (高千穂町)
- 高冷地野菜でブランド化して作っているが、熊本、福岡方面までの時間がかかる。また、荷傷みもあり、価格が下がる。 (五ヶ瀬町)
- 野菜、生シイタケなどを市場やJAなどに出荷しているけど急カーブ、急勾配が多く荷崩れをする。また時間も燃料代もかなりかかりロスが多すぎる。 (五ヶ瀬町)
- 仕事の面では物流で、野菜、果実等、安全かつ早く運べるようになれば、経済面で少しは豊かになれると思います。 (山都町)

#### 【自治体意見】

- 当地域は中山間地特有の気候を活かした高冷地野菜や杉・桧など有数な産地であるが、安全性・速達性に欠ける現道が課題。 (熊本県)
- 農産物や肉用牛の市場への輸送の際、多数の線形不良箇所の通行や長距離輸送による品質低下が発生しており、物流・輸送ルートの整備は喫緊かつ重要な課題である。 (山都町)

### 3. 第1回意見聴取の結果 その他意見(意見数619件)

#### 【その他】

- 高千穂は歴史・神話のある場所であるため、景観に配慮した道路整備をして欲しい。通過場所も景観に配慮して欲しい。 (高千穂町)
- これ以上大きな道路は造らなくても良いと思う (高千穂町)
- この地域では、ただ道を造るだけではだめ。橋そのものの外観だけではなく、高千穂鉄道の橋と合わせた景観に考慮するなど、場所に合わせた工夫が必要。 (高千穂町)
- これ以上便利にならなくても良い。心豊かな今が良い。 (五ヶ瀬町)
- 事前調査をしっかりと行い、地域の自然環境に配慮してもらいたい (五ヶ瀬町)
- 高千穂の景観をこわすので、これ以上道路を整備しなくても良いと思う (高千穂町)
- 自然豊かな地域であるため環境に配慮してほしい (高千穂町)
- 過疎が進む山間地で、そんなに交通が多くもないし急いで行く必要もないと思います。山奥まで道を作ることで、環境は悪くなるばかりのように感じます。 (山都町)
- 道路と家がすぐといったところですから、高速道が出来たら音がしなくなりよく休めます。 (山都町)

■自治体意見    ■企業・団体ヒアリング    □地域住民(オープンハウス・アンケート)

### 3. 第1回意見聴取の結果 自治体への意見聴取結果(一部再掲)

#### 【熊本県】

- ・当地域は、中山間地特有の気候を生かした高冷地野菜や杉、桧など有数の産地であると共に、豊かな自然や清和文楽、通潤橋に代表される歴史文化が存在する。しかしながら、エリア内の道路は線形不良箇所が連続し、自然災害も多く発生するなど脆弱である。安全性や速達性に欠ける現状は、多くの観光資源を有しながらも有効に活用できない等、「防災」「医療」「産業」あらゆる面において大きな課題となっており、東西の高速交通ネットワークの整備が強く望まれる地域である。
- ・政策目標(案)は、当地域が求める姿を的確に捉えられている。また、本県の取り組みの基本方針である「幸せ実感くまもと4カ年戦略」の内容の推進に寄与するものであり、妥当であると考える。

#### 【熊本市】

- ・九州中央域で最大の観光地である阿蘇や宮崎の高千穂地域などがスムーズに結ばれれば、それぞれ単独で訪れていた観光客を相互に呼び込むことが可能となる。
- ・当該区間に並行する国道218号は急カーブ、急勾配の箇所が多数存在する難所であり、防災点検箇所が多数存在するなど防災面の課題の大きい区間である。

#### 【山都町】

- ・「蘇陽～高千穂間」を横断する国道218号、また、それと交差する国道265号は、線形不良箇所が多数存在し豪雨等による法面崩壊も発生する状況にあるため走行上危険を伴い、周辺住民の生活に支障をきたすことが頻繁に発生している為、これらの課題を早期に解決していただきたい。
- ・九州中央地域では、患者が熊本都市圏の救急救命医療施設への搬送が必要になった場合60分以上要する。救急患者を搬送するにあたって急カーブ、急勾配の区間が多数存在し、患者への負担が大きい状況にある。また、専門的な医療機関が集中する熊本都市圏の医療機関への受診に際しても多大な時間を要する状況にある。熊本都市圏への医療機関等への搬送・受診時間の短縮は沿線住民にとって重要な課題である。



### 3. 第1回意見聴取の結果 自治体への意見聴取結果(一部再掲)

#### 【宮崎県】

- ・緊急医療施設への搬送路としての機能に加え、大規模災害発生時には救援・支援ルートとなる「命の道」として機能する路線である。
- ・九州の東西を連結し、九州の経済インフラの多重化を図るとともに広域物流ネットワークの形成にとって重要な路線である。
- ・当該区間は、平面・縦断線形不良箇所が多く走行性が悪い区間や速度低下区間が存在するなど、道路の課題が多いため早期事業化を要望している。

#### 【五ヶ瀬町】

- ・過疎化、人口減少が問題。何より若い人がいない。九州中央道ができれば、熊本市が通勤圏内になる。仕事がないため、五ヶ瀬に帰りたいけど帰れなかった若い人が戻って来ると考えている。

#### 【高千穂町】

- ・高千穂町から熊本、延岡へ通勤してもらいたいと考えている。例えば、平日は都市で働き、休日は稲作などを行うことで、地域の伝統文化(棚田)も守ってもらいたい。耕作放棄地もあり、このままでは棚田が守れない。
- ・お米については天日干しなら高く売れる。ただし、現状では輸送運賃がかかるため、コストが高くなってしまふ。

#### 【日之影町】

- ・熊本県は有名な救急医療施設が多いが、一刻一秒を争うときに今の218号では間に合わない。

#### 【延岡市】

- ・高千穂は宮崎県内最大の観光スポットであり、阿蘇と隣接しているのに高千穂へは時間がかかり行きにくい。宮崎県としても阿蘇と高千穂がうまく結ばれれば、宮崎県北部の観光全体が爆発する可能性がある。



## 4. 対応方針(案)の検討

## 4. 対応方針(案)の検討<政策目標の設定>

### ■政策目標の設定

■地域課題や将来像等を踏まえ、5つの政策目標を設定し、これら目標を達成するための対策案を検討。

地域の現状と課題

道路・交通の現状と課題

地域の将来像

1. 災害時にも機能する信頼性の高いネットワークの確保
2. 熊本市・延岡市の第3次救急医療施設への速達性・走行性の向上
3. 熊本市・延岡市への移動の速達性・安全性の向上による雇用・定住の促進
4. 歴史・文化的資源を活かした回遊性の向上による広域的な観光振興の支援
5. 走行性、速達性向上による産業活動の支援

### ■対策案の検討

#### 【防 災】

災害時の信頼性が高く、主要な集落とのアクセス性を確保し、信頼性の高いネットワークを構築

#### 【医 療】

熊本市や延岡市の第3次救急医療施設への速達性・走行性の向上により緊急医療体制を支援

#### 【雇用・定住】

熊本市・延岡市への所要時間の短縮、安全性の向上による雇用・定住条件の改善

#### 【観 光】

九州中央地域の多様な観光資源間の回遊性向上により、周辺観光地と一体となった観光振興の支援

#### 【産 業】

産業拠点間の移動時間短縮、走行性の向上による物流効率化に伴う産業活動を支援

#### ○対策案を検討する上での配慮事項

【生活環境・自然環境の保全と調和】

【沿道利用】

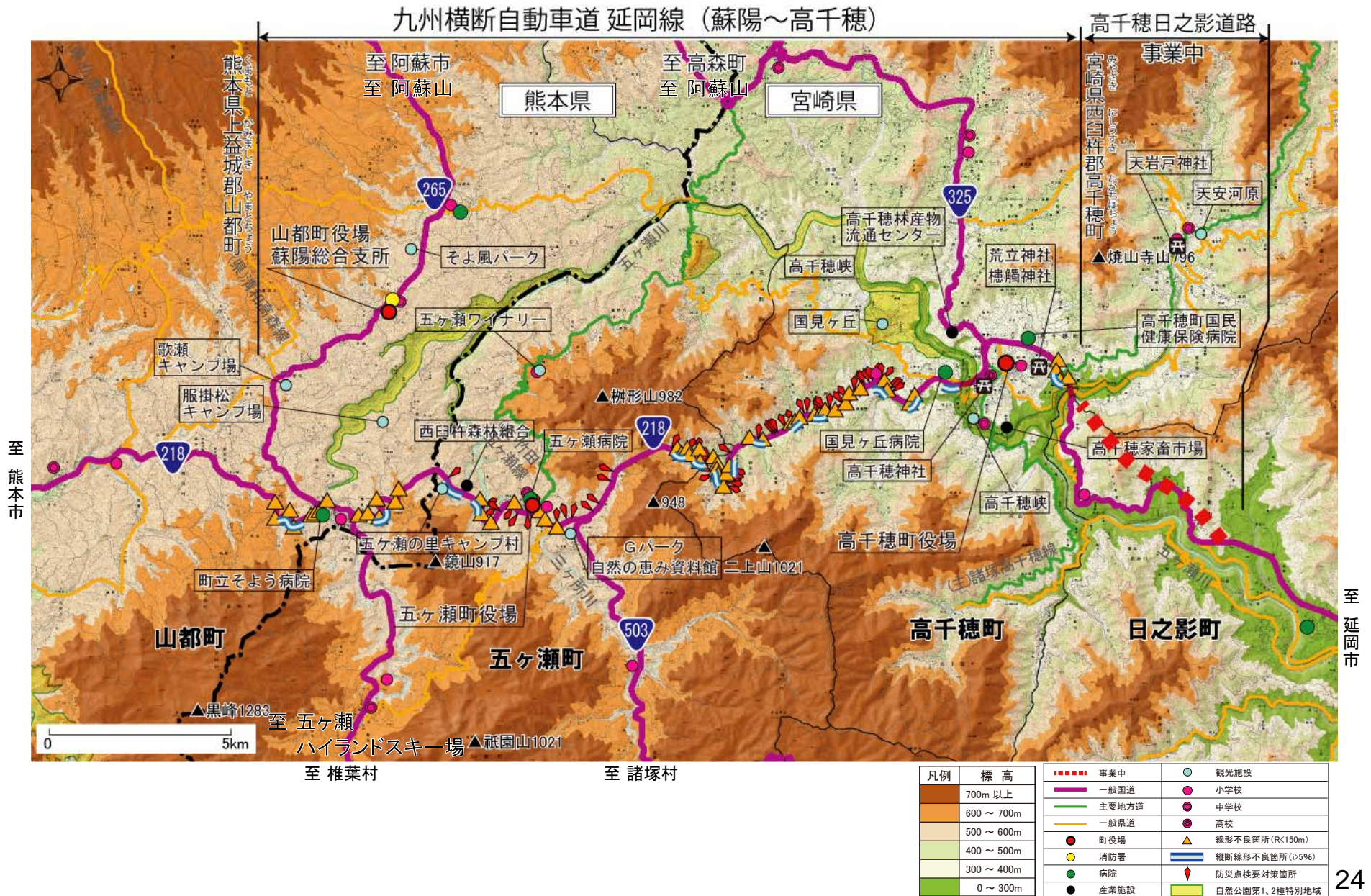
【経済性への配慮】

基本コンセプト: 災害時における地域とのアクセス性を確保するとともに、熊本市・延岡市への速達性・走行性の向上を図り、雇用・定住の促進や観光振興、産業の活性化を目指す。

既存の道路ストック活用や別線整備等の対策案を検討

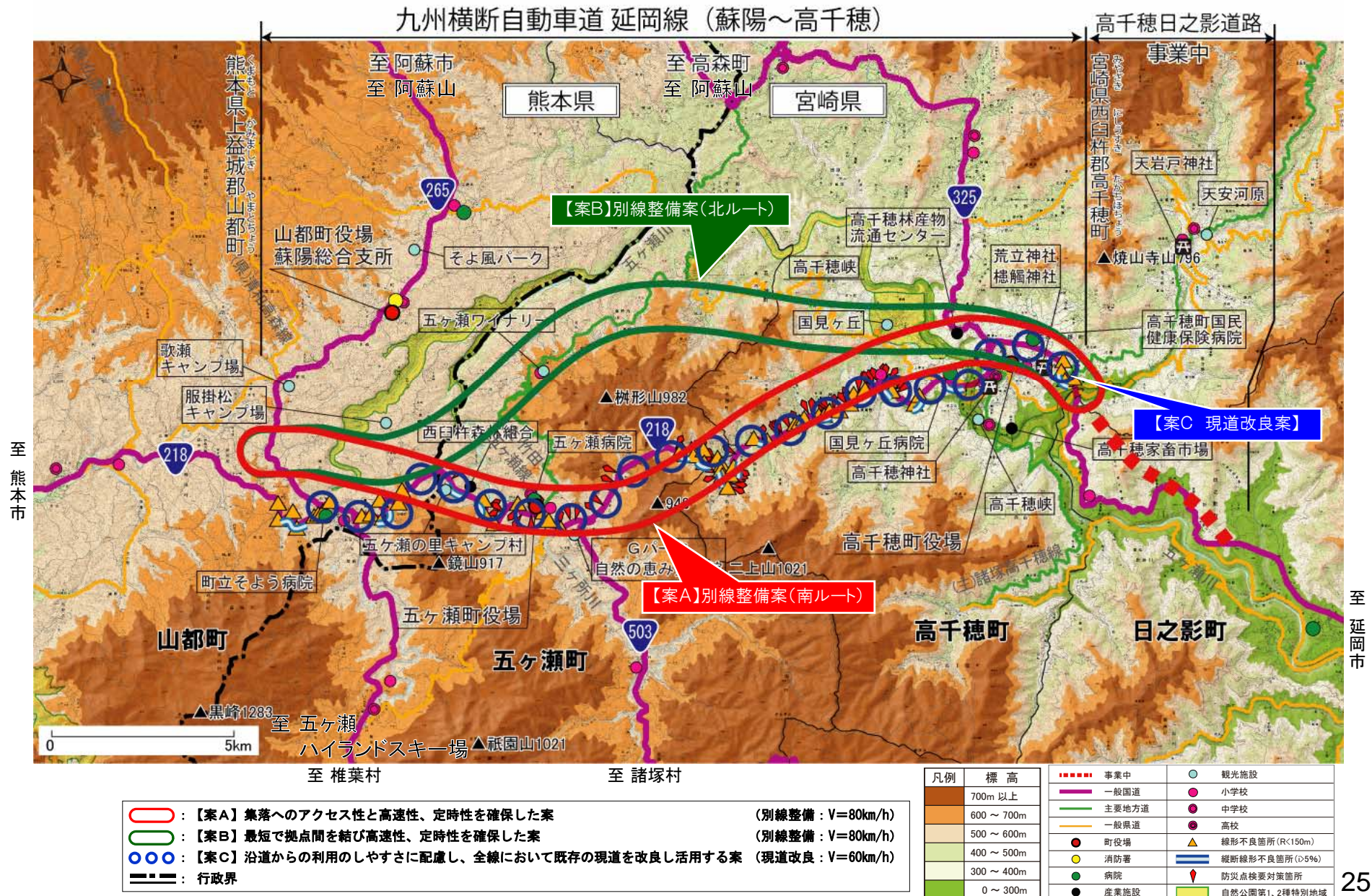


# 4. 対応方針(案)の検討<ルート帯選定にあたってのコントロールポイント>





# 4. 対応方針(案)の検討<ルート帯案の概要>



# 4. 対応方針(案)の検討<ルート帯案の概要>

評価項目		【案A】別線整備案(南ルート)	【案B】別線整備案(北ルート)	【案C】現道改良案	
		集落へのアクセス性と 高速性、定時性を確保したルート	最短で拠点間を結び 高速性、定時性を確保したルート	沿道からの利用のしやすさに配慮し、全線において 既存の現道を改良し活用するルート	
項目	指標	延長 約22km 自動車専用道路タイプ(設計速度:80km/h)	延長 約21km 自動車専用道路タイプ(設計速度:80km/h)	延長 約26km 一般道路タイプ(設計速度:60km/h)	
政策 目 標	災害時にも機能する信頼性の高いネットワークの確保	災害時の代替路機能	・別線整備により代替路を確保	・別線整備により代替路を確保	・代替路が確保されない
	熊本市・延岡市の第3次救急医療施設への速達性・走行性の向上	第3次医療施設までの搬送時間	・救急搬送時間の短縮が大きい	・救急搬送時間の短縮が小さい	・救急搬送時間の短縮が小さい
		第3次医療施設までの走行性	・平面、縦断線形不良箇所を回避	・平面、縦断線形不良箇所を回避	・平面、縦断線形不良箇所を回避
	熊本市・延岡市への移動の速達性・安全性の向上による安心した暮らしの支援	生活拠点から市街地までの移動時間	・移動時間の短縮が大きい	・移動時間の短縮が小さい	・移動時間の短縮が小さい
		生活拠点から市街地までの安全性	・平面、縦断線形不良箇所・防災点検要対策箇所を回避	・平面、縦断線形不良箇所・防災点検要対策箇所を回避	・平面、縦断線形不良箇所・防災点検要対策箇所を回避
	歴史・文化的資源を活かした回遊性の向上による広域的な観光振興の支援	観光地間の移動時間	・移動時間の短縮が小さい	・移動時間の短縮が大きい	・移動時間の短縮が小さい
	走行性、速達性向上による産業活動の支援	産業拠点間の移動の走行性	・平面、縦断線形不良箇所を回避	・平面、縦断線形不良箇所を回避	・平面、縦断線形不良箇所を回避
産業拠点間の移動時間		・移動時間の短縮が大きい	・移動時間の短縮が小さい	・移動時間の短縮が小さい	
道路整備による影響	環境面	生活環境 大気質・騒音等	・影響を与える可能性は大きい	・影響を与える可能性は小さい	・影響を与える可能性は最も大きい
		自然環境 動物の生息地や植物の生育地等	・影響を与える可能性は小さい	・影響を与える可能性は最も大きい	・影響を与える可能性は大きい
	家屋への影響	移転が必要となる家屋等の数	・多い	・少ない	・最も多い
	沿道利用	沿道からの利用	・インターチェンジに限定される	・インターチェンジに限定され、五ヶ瀬町からのアクセス性は最も低い	・一般道路のためどこからでもアクセス可能
	早期効果の発現	発現の時期	・早期の効果発現が困難	・早期の効果発現が困難	・改良したところから効果発現が見込まれる
	コスト	整備に要する費用	約900~950億円	約950~1,000億円	約800~850億円





## 5. 第2回意見聴取方法

# 5. 第2回意見聴取方法

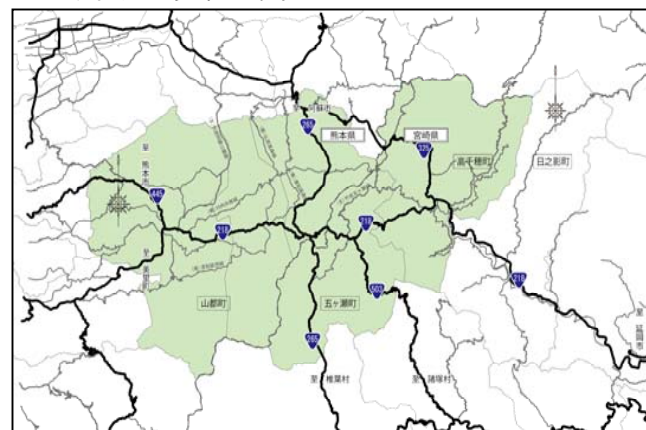
## 1. 意見聴取の基本方針

・対応方針(案)を検討するにあたり、重要視する観点を把握する。

## 2. 意見聴取の方法と対象者

- ※1 ヒアリングは、団体の代表者及び企業等へ対面方式での意見聴取。
- ※2 オープンハウスは、各自治体役場等での説明。アンケート票による意見聴取。オープンハウスの周知は町報などで広報。
- ※3 アンケートは、地域住民にアンケート票を配布し意見聴取。  
(1世帯あたり、アンケート回答用返信ハガキを4枚同封予定)

■地域住民意見聴取範囲



対 象 者		
ヒアリング ※1	【沿線首長及び団体代表者】熊本県・宮崎県・関係市・団体への意見聴取	
	沿線首長:熊本県、宮崎県、熊本市、延岡市、山都町、五ヶ瀬町、高千穂町、日之影町	8名
	各団体:トラック協会、バス協会、タクシー協会、商工会議所・商工会、消防署、警察、農協、漁協、観光協会 等	25団体
	【企業等】熊本県・宮崎県・関係市の関係企業への意見聴取	
	各企業:製造業、運輸・郵便業、卸売・小売業、宿泊・飲食サービス業、医療・福祉	主要100社
オープンハウス (ヒアリング) ※2	【地域住民】沿線の山都、五ヶ瀬、高千穂の町役場等にオープンハウスを設置	
	山都町	3箇所
	五ヶ瀬町	
高千穂町		
アンケート ※3	【地域住民】山都町の一部地区、五ヶ瀬町、高千穂町	
	山都町	全戸 8,000戸
	五ヶ瀬町	全戸 1,500戸
	高千穂町	全戸 5,000戸

# 5. 第2回意見聴取方法

## 2. 住民アンケート(案)

①調査概要 ■調査の主旨、調査対象箇所、評価の進め方について説明。

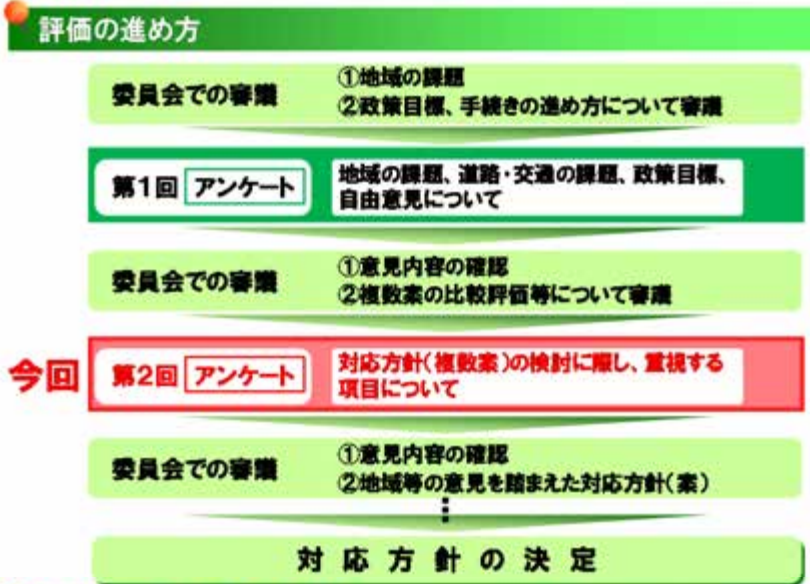


### アンケートの目的

このアンケートは、九州横断自動車道延岡線（蘇陽～高千穂）について、国土交通省 九州地方整備局 熊本河川国道事務所・延岡河川国道事務所より、みなさまにご意見をお伺いするものです。

今後、ルート帯を検討していく上での留意事項についてお聞きし、加えて地域の課題を解決するためにふさわしい対策案の通過位置、連絡位置などの基本的な考え方についてお聞きします。

本アンケートにご協力いただきますよう、お願いいたします。



### 九州横断自動車道 延岡線(九州中央自動車道(通称:九州中央道))

アンケートの対象地域は、蘇陽～高千穂となります。



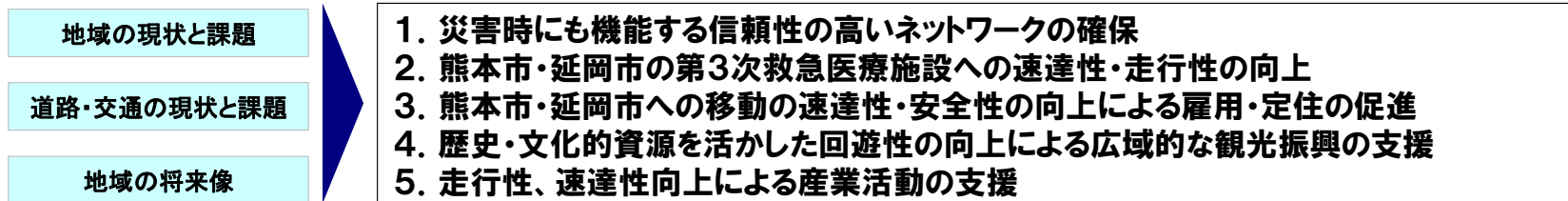
# 5. 第2回意見聴取方法

## 2. 住民アンケート(案)

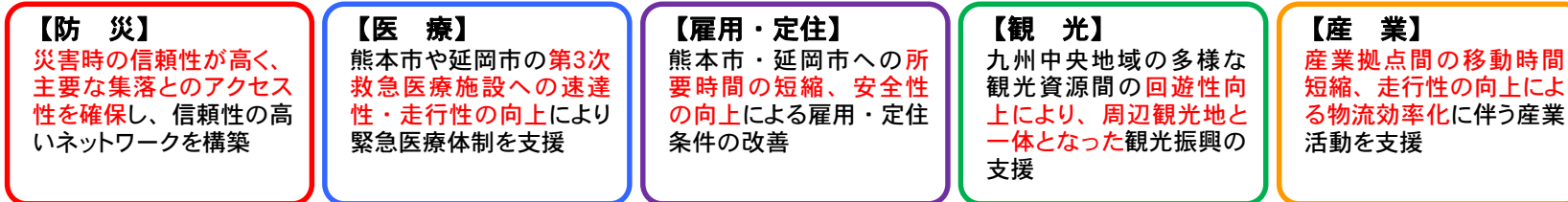
②整備方針 ■沿線地域の現状と課題、政策目標を説明。

### ■政策目標の設定

■地域課題や将来像等を踏まえ、5つの政策目標を設定し、これら目標を達成するための対策案を検討。



### ■対策案の検討



○対策案を検討する上での配慮事項

- 【生活環境・自然環境の保全と調和】
- 【沿道利用】
- 【経済性への配慮】

基本コンセプト：災害時における地域とのアクセス性を確保するとともに、熊本市・延岡市への速達性・走行性の向上を図り、雇用・定住の促進や観光振興、産業の活性化を目指す。

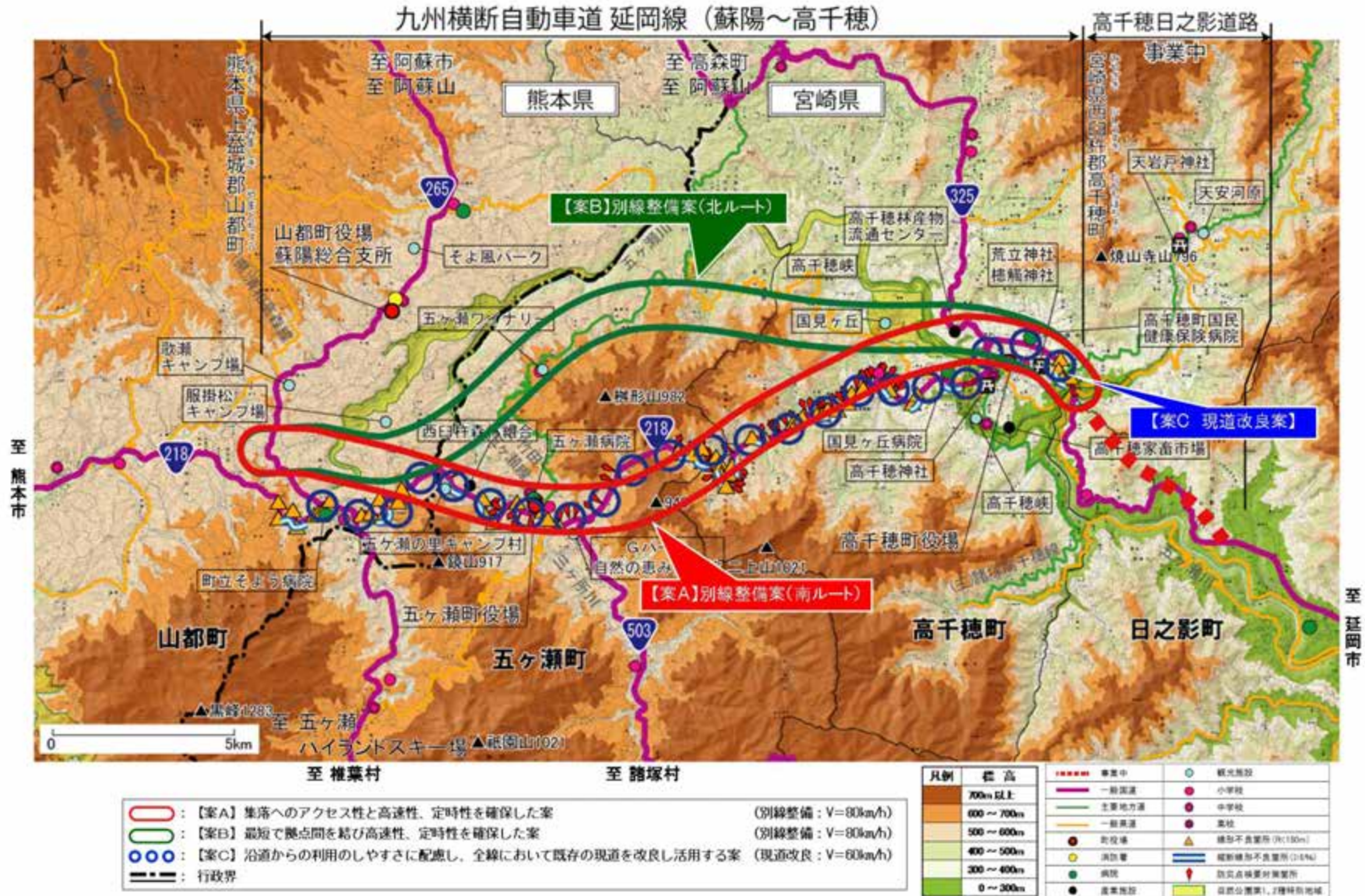
既存の道路ストック活用や別線整備等の対策案を検討



# 5. 第2回意見聴取方法

## 2. 住民アンケート(案)

③対策案 ■各対策案の概要と各評価項目における整備効果を図と比較表を用いて説明。





# 5. 第2回意見聴取方法

## 2. 住民アンケート(案)

③対策案 ■各対策案の概要と各評価項目における整備効果を図と比較表を用いて説明。

評価項目		【案A】別線整備案(南ルート)	【案B】別線整備案(北ルート)	【案C】現道改良案	
		集落へのアクセス性と 高速性、定時性を確保したルート	最短で拠点間を結び 高速性、定時性を確保したルート	沿道からの利用のしやすさに配慮し、全線において 既存の現道を改良し活用するルート	
項目	指標	延長 約22km 自動車専用道路タイプ(設計速度:80km/h)	延長 約21km 自動車専用道路タイプ(設計速度:80km/h)	延長 約26km 一般道路タイプ(設計速度:60km/h)	
政策 目 標	災害時にも機能する信頼性の高いネットワークの確保	災害時の代替路機能	・別線整備により代替路を確保	・別線整備により代替路を確保	・代替路が確保されない
	熊本市・延岡市の第3次救急医療施設への速達性・走行性の向上	第3次医療施設までの搬送時間	・救急搬送時間の短縮が大きい	・救急搬送時間の短縮が小さい	・救急搬送時間の短縮が小さい
		第3次医療施設までの走行性	・平面、縦断線形不良箇所を回避	・平面、縦断線形不良箇所を回避	・平面、縦断線形不良箇所を回避
	熊本市・延岡市への移動の速達性・安全性の向上による安心した暮らしの支援	生活拠点から市街地までの移動時間	・移動時間の短縮が大きい	・移動時間の短縮が小さい	・移動時間の短縮が小さい
		生活拠点から市街地までの安全性	・平面、縦断線形不良箇所・防災点検要対策箇所を回避	・平面、縦断線形不良箇所・防災点検要対策箇所を回避	・平面、縦断線形不良箇所・防災点検要対策箇所を回避
	歴史・文化的資源を活かした回遊性の向上による広域的な観光振興の支援	観光地間の移動時間	・移動時間の短縮が小さい	・移動時間の短縮が大きい	・移動時間の短縮が小さい
走行性、速達性向上による産業活動の支援	産業拠点間の移動の走行性	・平面、縦断線形不良箇所を回避	・平面、縦断線形不良箇所を回避	・平面、縦断線形不良箇所を回避	
	産業拠点間の移動時間	・移動時間の短縮が大きい	・移動時間の短縮が小さい	・移動時間の短縮が小さい	
環境面	生活環境	大気質・騒音等	・影響を与える可能性は大きい	・影響を与える可能性は小さい	・影響を与える可能性は最も大きい
	自然環境	動物の生息地や植物の生育地等	・影響を与える可能性は小さい	・影響を与える可能性は最も大きい	・影響を与える可能性は大きい
家屋への影響	移転が必要となる家屋等の数	・多い	・少ない	・最も多い	
沿道利用	沿道からの利用	・インターチェンジに限定される	・インターチェンジに限定され、五ヶ瀬町からのアクセス性は最も低い	・一般道路のためどこからでもアクセス可能	
早期効果の発現	発現の時期	・早期の効果発現が困難	・早期の効果発現が困難	・改良したところから効果発現が見込まれる	
コスト	整備に要する費用	約900~950億円	約950~1,000億円	約800~850億円	

# 5. 第2回意見聴取方法

## 2. 住民アンケート(案)

### ④質問事項、意見聴取結果

■「回答者の属性」「対策案(ルート帯案)」「インターチェンジ」について確認。

#### アンケート調査のお願い

##### アンケートにお答え下さい(回答は返信はがきに記入して下さい)

別紙、パンフレットの課題や政策目標を参考に、地域の皆さまが日頃から感じられている地域が抱える課題や道路・交通の状況と課題について、自由にご意見をお書き下さい。

##### ■回答の提出方法

回答は、添付の「アンケート回答用返信はがき」に記入し、郵便ポストに投函してください。

##### ■/切

平成27年●月●日(●)までに投函いただけますよう、お願いいたします。

(はがきの表面に記入)

#### 質問1 対策案(ルート帯案)を検討する際に、重視すべき事項

※別紙に示した「各ルート帯・比較表」を参考にお答えください。

対策案(ルート帯案)を検討する際に、右記の重視すべき事項について、皆様は何を重視すべきと思いますか? 1~9に挙げる9つの事項の重要性を5段階で評価して下さい。

<記入例> ※「特に重視すべき」と思われた場合は、「5」  
※「重視する必要なし」と思われた場合は、「1」

- ①災害時にも代替路として利用できること
- ②患者に負担なく、救急病院へ早く行けること
- ③熊本市・延岡市へ早く安全に行けること
- ④観光地間の移動時間が短いこと
- ⑤産業拠点間の移動時間が短いこと
- ⑥生活環境(騒音など)への影響が少ないこと
- ⑦自然環境(動植物など)への影響が少ないこと
- ⑧家屋移転が少ないこと
- ⑨沿道からの利用が便利なこと
- ⑩段階的に開通が図られ、早期に整備効果が望めること
- ⑪整備費用が安いこと

(はがきの裏面に記入)

#### 質問2 インターチェンジなど周辺道路からのアクセスを計画する際に重視すべき事項

インターチェンジなど周辺道路からのアクセスを計画する際に、右記の重視すべき事項について、皆様は何を重視すべきと思いますか? 1~5に挙げる5つの事項の重要性を5段階で評価して下さい。

<記入例> ※「特に重視すべき」と思われた場合は、「5」  
※「重視する必要なし」と思われた場合は、「1」

- ①集落等から安全かつ円滑にアクセスすること
- ②救急医療機関等との連絡による救急医療体制の支援
- ③熊本市・延岡市への連絡性向上による雇用・定住の支援
- ④主要な観光施設等との連絡による観光振興
- ⑤物流施設等との連絡による産業活動の支援

#### 質問3 あなた自身のことについてお尋ねします。

【質問3-1】

あなたの年代は?

10代 20代 30代 40代 50代 60代 70代以上

【質問3-2】

あなたの性別は?

男 女

【質問3-3】

あなたの職業は?

会社員・公務員 パート・アルバイト 農業 自営業  
主婦 学生 無職 その他

【質問3-4】

あなたのお住まいはどちらですか?

山都町 五ヶ瀬町 高千穂町  
その他 [ ]

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

平成27年●月●日(▼)、●日(▲)には、山都町●●●公民館、五ヶ瀬町●●●センター、高千穂町●●●役場において、オープンハウスも行ってあります。どなたでも自由に参加いただけますので、お気軽にお越し下さい。

# 5. 第2回意見聴取方法

## 2. 住民アンケート(案)

### ⑤返信はがき

郵便はがき

〒 8 8 2 0 8 0 3

科金受取入郵便

延岡支店  
承認  
〇〇〇

宮崎県延岡市大貫町1丁目2889  
延岡河川国道事務所

九州横断自動車道 延岡線(蘇陽～高千穂)  
計画段階評価 事務局 行

〒 8 8 2 0 8 0 3

九州横断自動車道延岡線(蘇陽～高千穂) アンケート

質問1 対策案(ルート帯案)を検討する際に、重視すべき事項の重要性を5段階で評価してください。  
【1～5のいずれかに○をつけてください】

重視すべき事項	特に重視すべき	やや重視すべき	どちらでもない	あまり重視すべきでない	重視する必要なし
①災害時にも代替路として利用できること	5	4	3	2	1
②患者に負担なく、救急病院へ早く行けること	5	4	3	2	1
③熊本市・延岡市へ早く安全に行けること	5	4	3	2	1
④観光地間の移動時間が短いこと	5	4	3	2	1
⑤産業拠点間の移動時間が短いこと	5	4	3	2	1
⑥生活環境(騒音など)への影響が少ないこと	5	4	3	2	1
⑦自然環境(動植物など)への影響が少ないこと	5	4	3	2	1
⑧家屋移転が少ないこと	5	4	3	2	1
⑨沿道からの利用が便利なこと	5	4	3	2	1
⑩段階的に開通が図られ、早期に整備効果が望めること	5	4	3	2	1
⑪整備費用が安いこと	5	4	3	2	1

(自由回答)

※裏面に続きます

アンケート回答用 返信はがき

質問2 インターチェンジなど周辺道路からのアクセスを計画する際に、重視すべき事項の重要性を5段階で評価してください。  
【1～5のいずれかに○をつけてください】

重視すべき事項	特に重視すべき	やや重視すべき	どちらでもない	あまり重視すべきでない	重視する必要なし
①集落等から安全かつ円滑にアクセスすること	5	4	3	2	1
②救急医療機関等との連絡による救急医療体制の支援	5	4	3	2	1
③熊本市・延岡市への連絡性向上による雇用・定住の支援	5	4	3	2	1
④主要な観光施設等との連絡による観光振興	5	4	3	2	1
⑤物流施設等との連絡による産業活動の支援	5	4	3	2	1

(自由回答)

質問3 あなたの自身のことについてお尋ねします。  
【該当するものに必ずチェック及び記入をお願いします。】

年齢 10代 20代 30代 40代  
50代 60代 70代以上

性別 男 女

職業 会社員・公務員 パート・アルバイト  
農業 自営業  
主婦 学生 無職 その他

住所 山都町 五ヶ瀬町 高千穂町  
その他 [ ]

●お答え頂いた意見および個人情報、本アンケート以外の目的で使用することは一切いたしません。  
●みなさまの貴重な意見のとりまとめに必要となりますので、記入漏れがないようにお願いします。

国道10号 すみよし 住吉道路

第1回 説明資料

平成27年3月10日

国土交通省 九州地方整備局

## 目 次

- |                     |     |    |
|---------------------|-----|----|
| 1. 評価対象地域           | ・・・ | 2  |
| 2. 計画段階評価手続きの進め方(案) | ・・・ | 4  |
| 3. 地域特性と周辺環境        | ・・・ | 6  |
| 4. 沿線自治体等への意見聴取方法   | ・・・ | 14 |

# 1. 評価対象地域

# 1. 評価対象地域

- 宮崎市は空港、港湾及び高速道路・国道など、多くの交通網が集中している
- 評価対象地域は、宮崎市北部に位置し、県を縦貫する国道10号と県中央部を横断する国道219号が分岐・合流する道路交通網の結節点を有する地域

【広域図】



【拡大図】(評価対象地域)



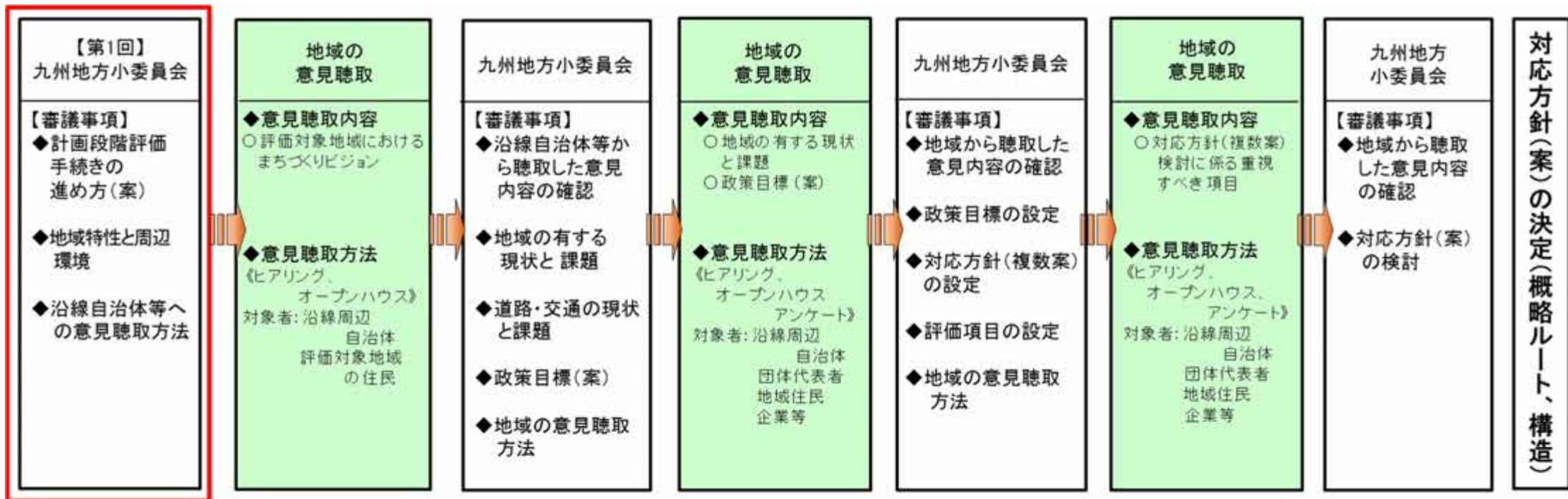


## 2. 計画段階評価手続きの進め方(案)



## 2. 計画段階評価手続きの進め方(案)

【平成27年3月10日】



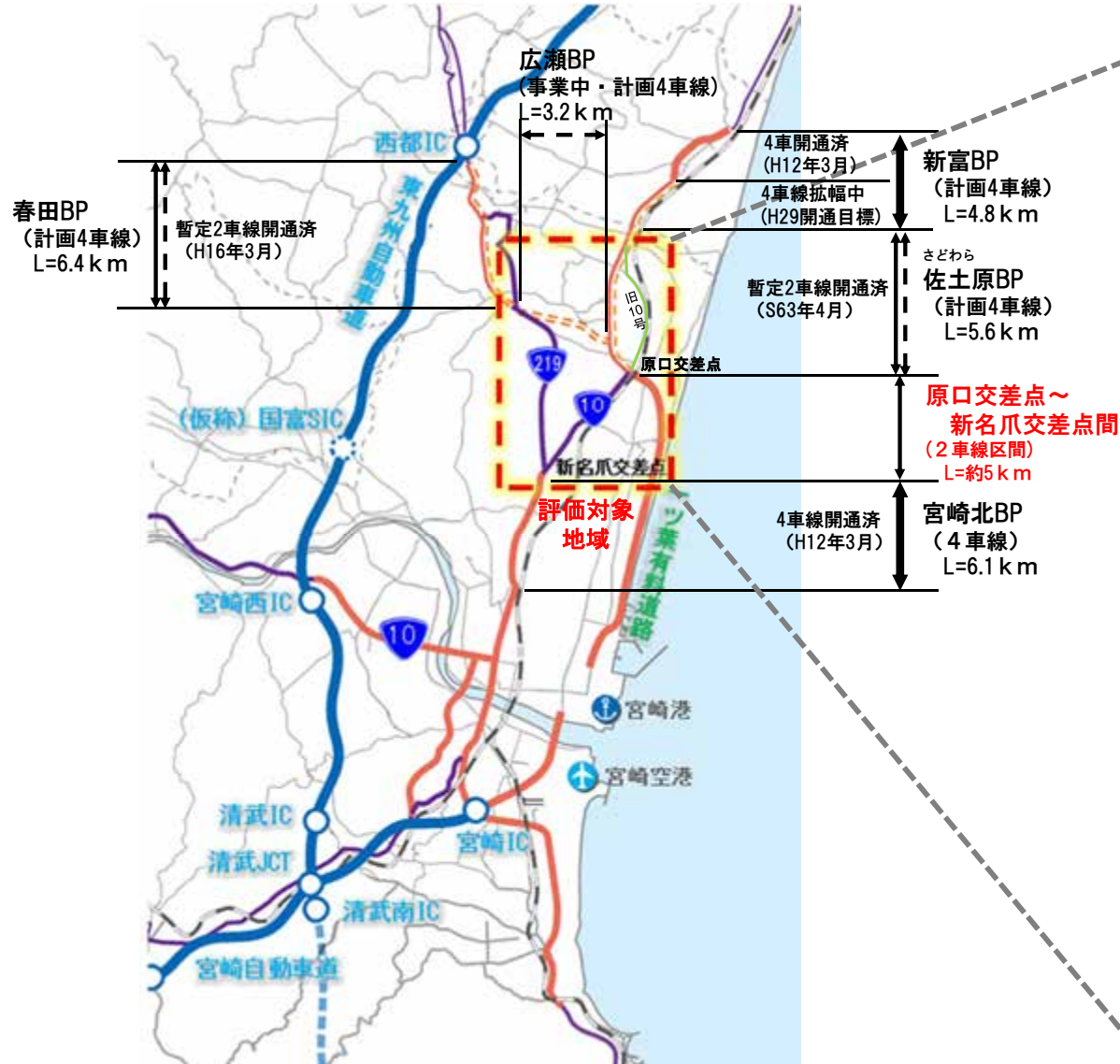
地方小委員会

### **3. 地域特性と周辺環境**

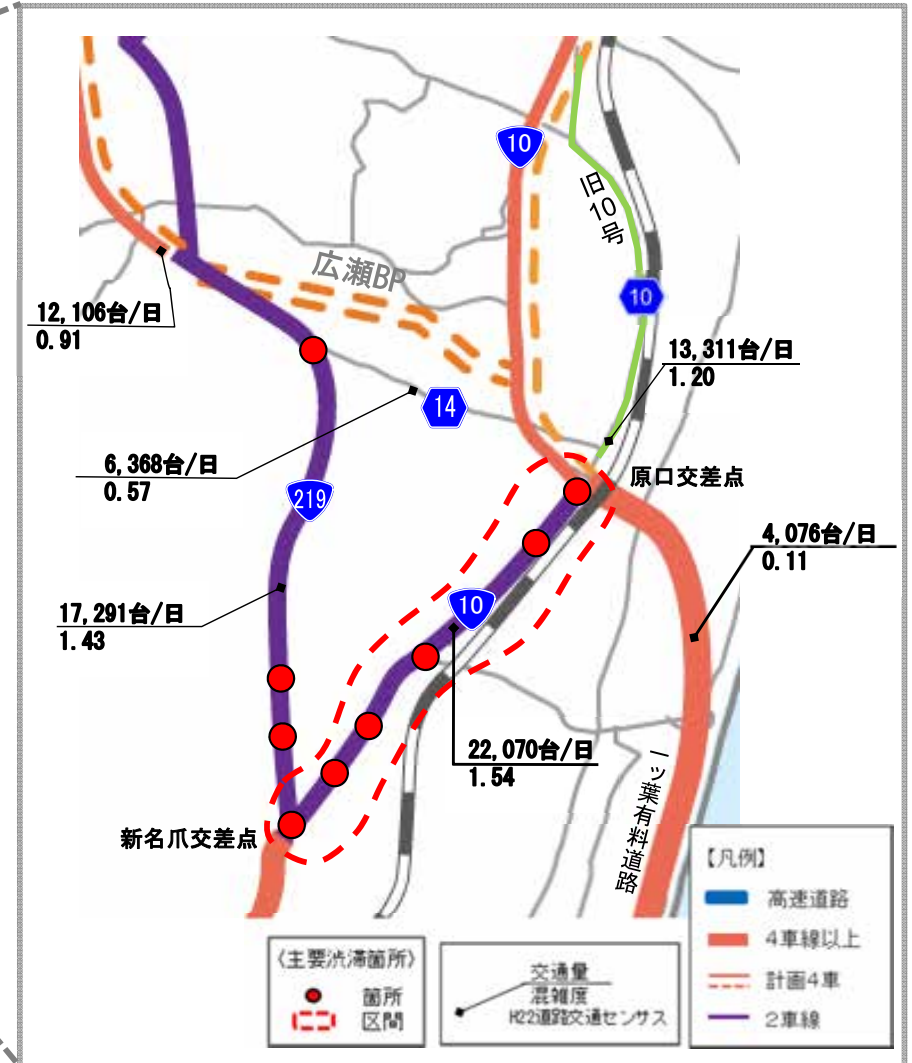
### 3. 地域特性と周辺環境(評価対象地域周辺のネットワーク)

- 評価対象地域周辺のネットワークにおいては、バイパス整備が進捗している状況
- 国道10号の**原口交差点～新名爪交差点間**が**唯一の2車線区間**
- 当該2車線区間は混雑度が1.5を超えており、**主要渋滞区間に選定**

■道路ネットワーク(現在)



■拡大図(評価対象地域)





# 3. 地域特性と周辺環境〈暮らし〉

- **国道10号沿線**においては、**大部分が市街化区域に指定**されている
- 評価対象地域には**通学区域が広がっており**、**国道10号、国道219号、その他道路を利用し通学**している
- **宮崎市都市計画マスタープラン(H25.3)**では、既存ストックの有効活用と新たな都市機能の郊外立地抑制や都市機能集約と都市軸の強化等の方向性に基づき、中心部や拠点間を結ぶ**南北基幹交通軸として国道10号**が位置づけられると共に、**対象地域南部が生活・住居拠点**、**北部が地域拠点**として位置づけられている

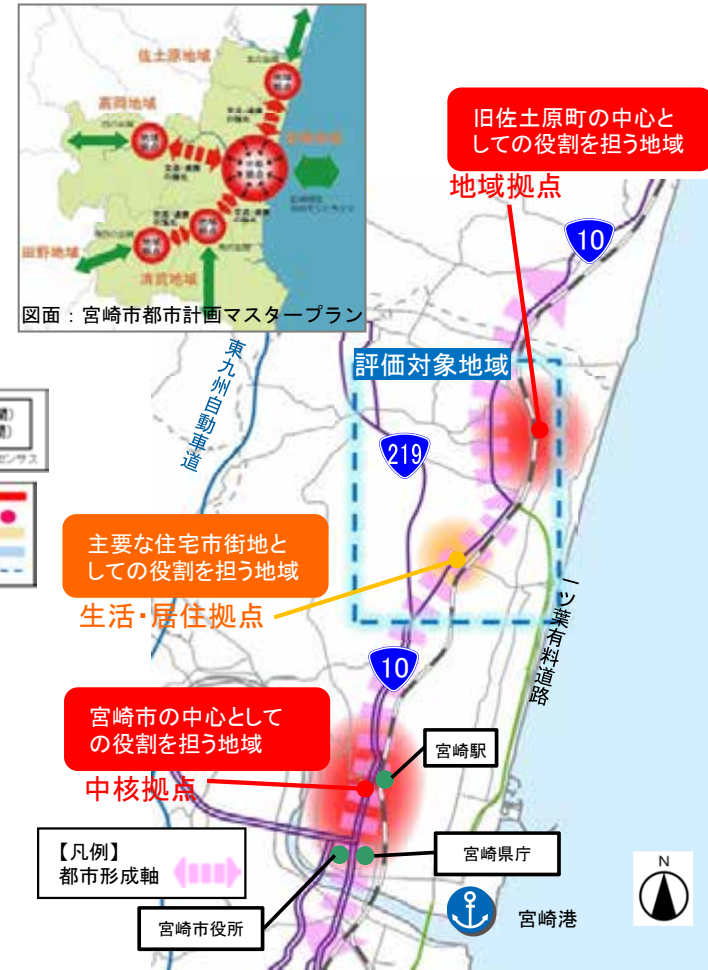
## ■ 評価対象地域の土地利用状況



## ■ 通学路指定路線と文教施設配置



## ■ 宮崎市の将来の都市構造イメージ



※市街化区域：都市計画区域内で既に市街地を形成している区域および概ね10年以内に優先的かつ計画的に市街化を図るべき区域

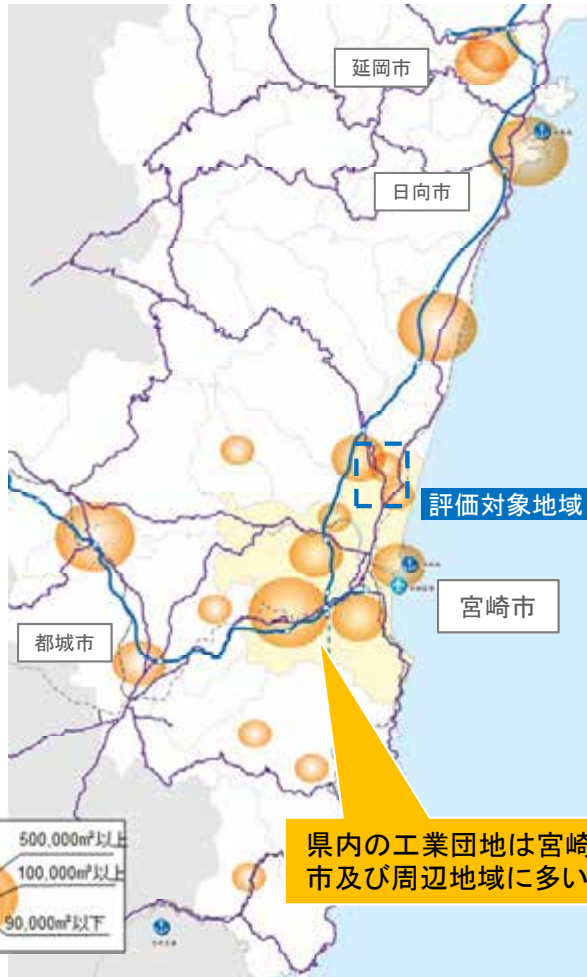
出典：宮崎市都市計画マスタープランでの位置付けを図化



# 3. 地域特性と周辺環境〈産業〉

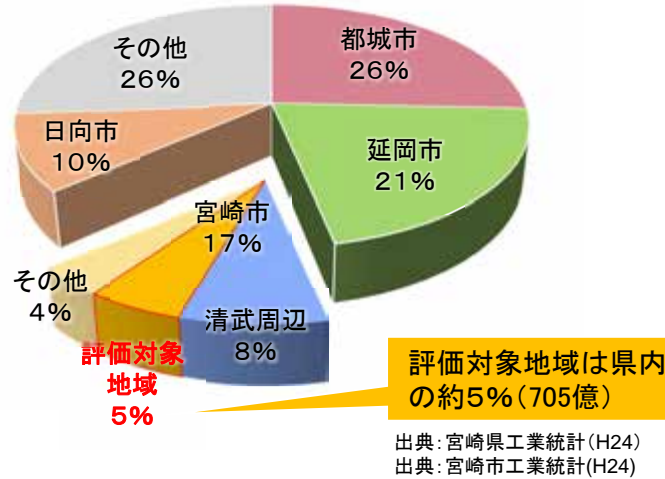
- 宮崎県内の工業団地の多くは高速道路、港、空港周辺に多く点在しており、**評価対象地域の製造品出荷額は県内の約5%**
- 評価対象地域には、**宮崎テクノリサーチパーク、佐土原中央工業団地、石崎工業団地**が立地している
- 宮崎市都市計画マスタープラン(H25.3)**では、**宮崎テクノリサーチパーク周辺**が、宮崎市の経済的発展や雇用の確保等を牽引する**物流・工業拠点**として位置づけられている

## ■宮崎県の工業団地



※大きさは敷地の総面積  
出典: 宮崎県HP

## ■製造品出荷額 (宮崎県)



## ■住吉地区の工業団地概要

### 宮崎テクノリサーチパーク

- ・敷地面積: 37万㎡
- ・分譲開始: H8年
- ・主な企業: 研究開発関係
- ・企業数: 17企業



### 佐土原中央工業団地

- ・敷地面積: 18万㎡
- ・分譲開始: H5年
- ・主な企業: 食品関係
- ・企業数: 6企業

### 石崎工業団地

- ・敷地面積: 6万㎡
- ・分譲開始: H21年
- ・主な企業: 農工業関係
- ・企業数: 6企業

## ■宮崎市の工業団地位置図



工業団地位置: 宮崎市HPにて位置づけられている工業団地  
 ※清武周辺: 宮崎市都市計画マスタープランで位置づけられている清武地域  
 ※住吉周辺: 宮崎市都市計画マスタープランで位置づけられている住吉地域+佐土原地域



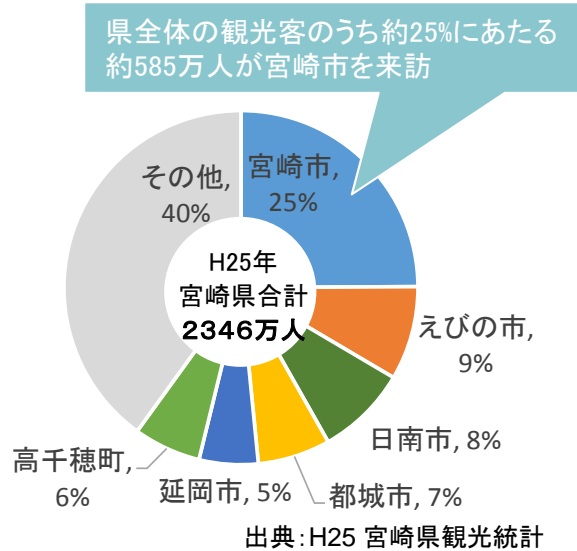
# 3. 地域特性と周辺環境〈観光〉

- 宮崎県内の主要な観光地は県南部に多く分布しており、県全体の観光客のうち約25%が宮崎市を来訪している
- 宮崎市内の観光地への移動手段の多くはマイカーやバスを利用されている
- 評価対象地域周辺には海岸沿い(一ツ葉有料道路周辺)等に観光施設が点在している
- 宮崎市都市計画マスタープラン(H25.3)では、一ツ葉地区が世界に開かれた観光・リゾート拠点として位置づけられている

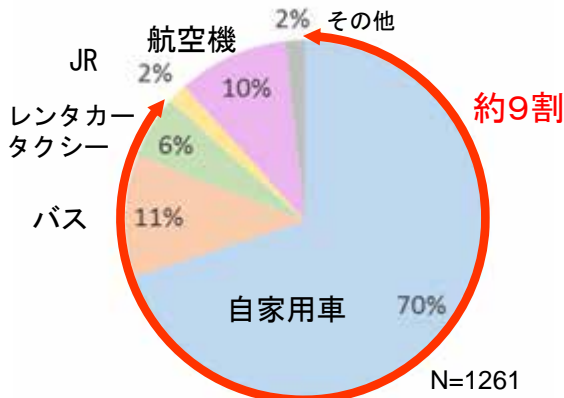
## ■宮崎県の主要観光施設



## ■宮崎県の観光入り込み客



## ■宮崎市内観光時の移動手段



## ■宮崎市北部地域の主要観光施設



### 3. 地域特性と周辺環境〈医療〉

- 宮崎県の第3次救急医療施設は3箇所あり、うち2箇所は宮崎市中心部に位置するなど、評価対象地域における高度医療サービスは宮崎市中心部の施設を利用している
- 宮崎市都市計画マスタープラン(H25.3)では、宮崎市中心部に位置する宮崎県立宮崎病院周辺が高度医療を提供する拠点として学術・医療拠頭に位置づけられている

#### ■宮崎県の第3次救急医療施設の位置と第2次救急医療圏域

- ・県内に第3次救急医療施設が3箇所
- ・県内に第2次救急医療施設が66箇所
- ・第2次救急医療圏域として7地区を設定



出典:宮崎県医療計画(H25.3)

※第2次救急医療圏域:入院治療を要するような比較的高い医療が概ね完結できる体制づくりを目指す地域区分

#### ■宮崎市の第3次・第2次救急医療施設と救急小隊位置図

国道10号を利用し搬送する救急車



※第3次救急医療施設、第2次救急医療施設:宮崎県医療計画にて示されている施設  
 ※救急小隊:救急自動車及び救急機械器具を運用し、救急活動を主たる任務とする隊



# 3. 地域特性と周辺環境〈防災〉

- 東海岸沿いは東南海・南海沖地震の発生時に想定される津波浸水域となっており、浸水エリアにある評価対象地域北部から防災拠点である宮崎市への緊急避難時には国道10号を利用する可能性が高い
- また、インターチェンジ周辺や評価対象地域北西部では、被災した際の受援、救援・救護等、後方支援機能の強化を図る地域であり、評価対象地域を縦貫する道路ネットワークを活用した復旧支援活動が行われることが予想される

## ■津波浸水域および緊急交通路の位置づけ



▲避難の困難が予測される地区の一つ浸水区域（一ツ瀬川河口周辺：佐土原地区）

出典：宮崎市地震津波対策インフラ構想（H25.10）

**緊急交通路**

①最優先道路： ——  
 国道10号、宮崎自動車道

②優先道路： ——  
 国道220号、一ツ葉有料道路

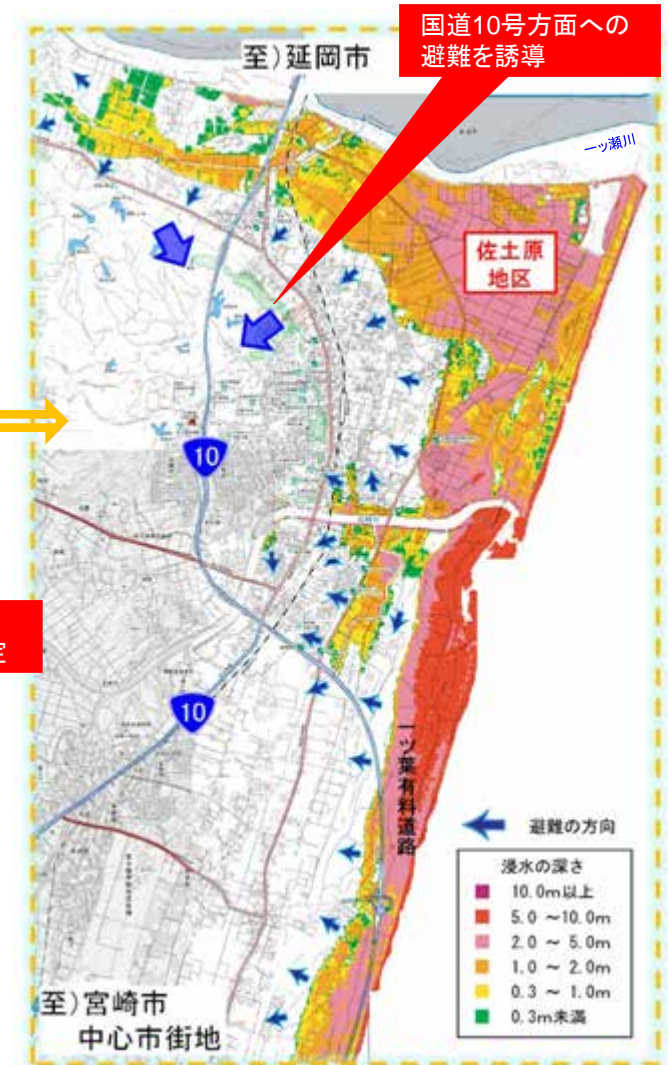
資料：宮崎市地域防災計画(H26.05)

※緊急交通路とは、被災者の避難路の確保、傷病者の搬送、救急・救護活動、救急物資輸送等に要する緊急輸送車両の通行を確保するため、県公安委員会が指定された路線



出典：宮崎県津波浸水想定（H25.2）  
 宮崎市防災計画（H26.5）  
 宮崎市地震津波対策インフラ構想（H25.10）

後方支援機能：被災した際の受援、救援・救護等の機能



出典：宮崎市ハザードマップ

### 3. 地域特性と周辺環境〈まとめ〉

#### 主な地域特性と周辺環境

<b>暮らし</b>	○国道10号沿線は、大部分が市街化区域に指定 ○評価対象地域には通学区域が広がっている	○国道10号は中核拠点と地域拠点を連絡する南北交通基幹軸 ○対象地域南部は生活・住宅拠点 ○評価対象地域北部は地域拠点
<b>産業</b>	○県内の工業団地の多くは高速道路、港、空港周辺に多く点在 ○対象地域の製造品出荷額は県内の約5% ○対象地域には、複数の工業団地が立地	○宮崎テクニサーチパーク周辺は物流・工業拠点として位置づけ
<b>観光</b>	○宮崎県内の主要な観光地は県南部に多く分布 ○県全体の観光客のうち約25%が宮崎市を来訪 ○宮崎市内の観光地への移動手段の多くはマイカーやバス	○観光施設が点在する海岸沿い(一ツ葉有料道路周辺)が観光・リゾート拠点として位置づけ
<b>医療</b>	○県の第3次救急医療施設の多くは宮崎市中心部に位置 ○対象地域における高度医療サービスは市中心部の施設を利用	○宮崎市中心部に位置する宮崎県立宮崎病院周辺は高度医療を提供する学術・医療拠点に位置づけ
<b>防災</b>	○東海岸沿いは東南海・南海沖地震発生時の津波想定浸水域	○防災拠点への緊急避難には国道10号を利用する可能性が高い ○IC周辺や対象地域北西部は、被災した際の受援、救援・救護等、後方支援機能の強化を図る地域 ○対象地域を縦貫する道路ネットワークを活用した復旧支援活動が予想

## 4. 沿線自治体等への意見聴取方法



# 4. 沿線自治体等への意見聴取方法

## 1. 意見聴取の基本方針

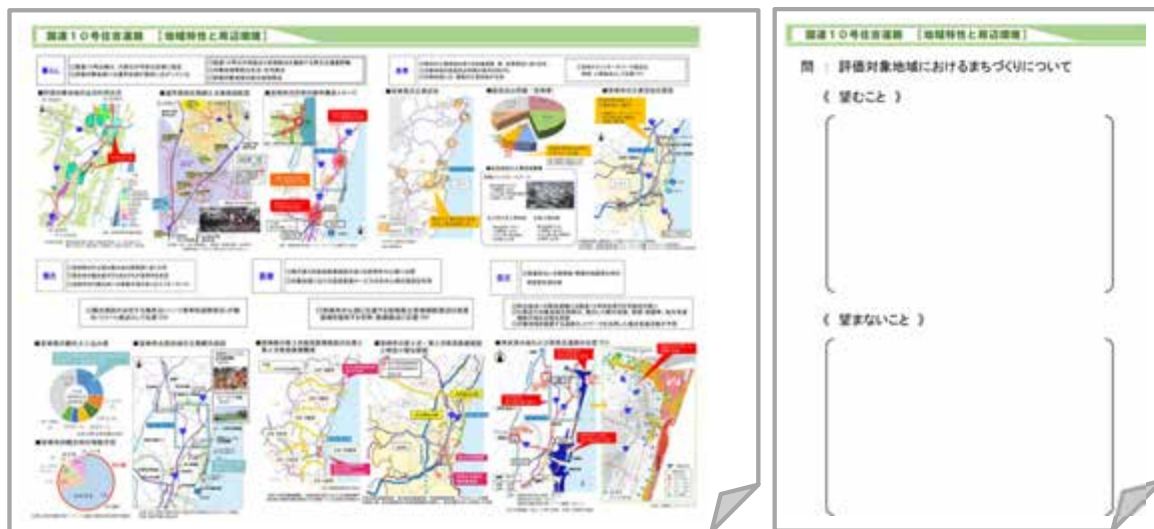
- ・評価対象地域におけるまちづくりビジョンに対する意見を伺う

## 2. 意見聴取の対象

- ・沿線周辺自治体(宮崎県, 宮崎市, 西都市, 新富町)
- ・評価対象地域の住民

## 3. 意見聴取の内容

- ・評価対象地域におけるまちづくりについて



意見聴取シートイメージ

